

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 特別選考入学試験問題

[小論文] 【学校教育専攻】

解答上の注意

1. 解答用紙の所定欄に、受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
2. 解答用紙が複数枚配付された場合、ホッチキスははずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
3. 問題用紙は「2枚」（本ページ含む）、解答用紙は「1枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程

特別選考入学試験問題

[小論文]

【学校教育専攻】

問題 以下の5課題中1課題を選び、論述しなさい。

*論述に当たっては、選択した問題文の番号と問題文の全文を書き写してから始めること。

- (1) カリキュラム・マネジメントとは何か。また、今後どのような在り方が必要とされていくか、昨今の教育政策の動向を踏まえながらあなたの考えを論述しなさい。
- (2) 学習指導要領の改訂に伴い、「主体的・対話的で深い学び」の導入が目指されているが、それでは、今後、教員研修はどのようにあるべきか論述しなさい。
- (3) 学校と地域の連携・協働のための推進方策として提起されているコミュニティ・スクールの理念と役割について論述しなさい。
- (4) 表1は、平成27年度の学年別不登校児童生徒数です。表1を参考にしながら、あなた自身の体験も踏まえて以下の問いに答えなさい。
 - 1) 不登校の傾向について小学校、中学校の特徴をそれぞれ1つあげ、その背景として考えられる要因について個人・環境の要因に分けて説明しなさい。
 - 2) 不登校対応について自分が所属する地域の政策を説明した上で、問題を改善するために、今後何を行う必要があるかを具体的に提案しなさい。

表1 平成27年度 学年別不登校児童生徒数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
人数	1,332	2,099	3,304	4,780	6,977	9,091	24,786	36,249	37,383

(出典 平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」文部科学省 初等中等局児童生徒課)

URL http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/02/1382696.htm

- (5) 学習者の資質・能力育成の一環として、授業の中に協同的学習の要素を取り入れることを計画した場合、あなたがかかわっている学校種で見られる、①問題点を指摘し、それに対して、②教員の側からどのような働きかけや取組が求められるのかを、具体的に説明しなさい。